



# 世界冬の都市市長会 広報誌

日本語特別号  
2007年11月発行

World Winter Cities Association for Mayors

世界冬の都市市長会事務局  
〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市総務局国際部内 TEL 011-211-2032 FAX 011-218-5168  
e-mail : wwcam@city.sapporo.jp URL : http://www.city.sapporo.jp/somu/kokusai/wwcam/

## 第13回世界冬の都市市長会議の開催迫る! ~ グリーンランドの首都 ヌークに世界の冬の都市が集結し 地球温暖化問題 を熱く議論 ~

「地球温暖化問題」 - 日々新聞紙面等を賑わせている大テーマですが、世界冬の都市市長会では、来年1月にグリーンランド・ヌーク市にて同問題をテーマとした市長会議を開催します。同市は人口1万5千人程の小さな都市ですが、実は地球温暖化による悪影響を最も強く受けている地域の一つです。ここで暮らす人々は、この問題を誰よりも深刻かつ身近な問題として受け止め、温暖化対策への取り組みの必要性を全世界に呼びかけようとしています。

同会議では各会員都市の市長をはじめ、企業関係者及び学術研究者の方々が、活発な討論や情報交換を繰り返し、「産学官」のあらゆる角度から会議全体を盛り上げていきます。

皆さんもこの機会に私たちとともに地球温暖化問題について考え、日頃お世話になっている“地球”に対して自分なりの“恩返し”をしてみませんか？



開催都市ヌーク（グリーンランド）

### 第13回世界冬の都市市長会議に対するヌーク市長からのメッセージ

## 世界冬の都市市長会議 ~ ヌークにおける気候変動

あなた方の多くは初めてグリーンランドを訪れるでしょう。私たちがお約束するのは、グリーンランド、及びヌークでの滞在は計り知れないほどの大きな経験となるということです。グリーンランドが良く知られている要素の1つに、この国を訪れる全ての方々に対する温かいホスピタリティー精神があります。ヌークの人々はまもなくここを訪れる会員の皆様にお会いするのを心待ちにしています。



グリーンランドの子供達

企業や学術機関が冬に関連した製品やノウハウ、文化を展示します。今回、冬の見本市はビジネスに関することだけではなく、全ての出展者がお互いの見識や文化を交換し合ったり、新たな国際的なネットワークを築くのに素晴らしい機会となるでしょう。

私はヌークの人々と共に、2008年1月にヌークで皆様をお迎えするのを心待ちにしています。

会議テーマである“北極圏における気候変動”は日増しに現実味を帯びてきています。また、私たちは冬の都市フォーラムのためにたくさんの講演者をお呼びしておりますが、ここでは気候変動に関する新進気鋭の専門家の話を聞くだけでなく、世界中の方々と見識や発想といったものを交換し合うこともできるでしょう。

冬の見本市では、グリーンランドだけでなく国際的な

ヌーク市長  
アグネス・デイヴィッドセン

Agnete Davidsen  
Mayor of Nuuk



世界冬の都市市長会について、まずお知りになりたい方は、折り込みの概要版をご覧ください。

## 全 体 内 容

ヌーク会議は、市長会議、冬の都市フォーラム、冬の見本市の3つのイベントで構成されています。

### 市長会議

1月18日～20日（於：カテュアク文化センター）  
 主なプログラム  
 開会式・基調講演（18日）  
 市長会議・ヌーク宣言（20日）

### 冬の都市フォーラム

1月18日～19日  
 於：カテュアク文化センター

### 冬の見本市

1月19日～20日  
 於：イヌシビック多目的ホール

## 市 長 会 議

隔年で開催され、会員都市の市長が一堂に会して、冬の都市が抱える問題を話し合うのが市長会議です。

今回の市長会議では、温暖化が生態系や産業活動の他、若者の生活環境にまで影響をもたらす実態を取り上げるなど、様々な分野において、グリーンランド、カナダ、アメリカといった地域の現状を紹介し、既に各地で影響が出始めている、地球温暖化防止に対する取組みを地域レベルで加速させることの重要性を各都市に訴えます。



第12回長春会議の様子（2006年）

## 冬の都市フォーラム

前述の市長会議に併催されるのが、冬の都市フォーラムです。これは様々な分野の専門家や学術経験者、あるいは市民が、冬のライフスタイルやまちづくりなどについて発表を行い、一般参加者とともに意見交換を行います。

今回のフォーラムでは、大学や気象研究所といった環境分野の専門家や地球温暖化問題を取り上げている報道関係者等をお招きし、北極圏における海水の役割についての研究や気候変動が与える社会的な影響、オゾン層の現状に加え、これまで撮影された数々の記録などを用いた講演なども予定され

ており、行政からのアプローチだけでは解決できない同問題について、様々な切り口で解決への糸口を探り、市長会議を側面から盛り立てていきます。



カテュアク文化センター

## 冬 の 見 本 市



見本市会場内部の様子（2006年長春会議）

同じく市長会議に併催されるのが冬の見本市です。各会員都市の企業等が出展者となり、冬や雪にまつわる製品や機材の展示を行うほか、様々な技術の紹介を行います。

今回の見本市ではグリーンランドの地元の企業であるRoyal Arctic Lineその他、60近いブースが設置される予定であり、金属鉱業、石油開発、海運に携わるこれらグリーンランドの大企業に加え、グリー



イヌシビック多目的ホール

ンランドにしかない製品を出展する地元の企業を知る良い機会となるでしょう。さらに文化交流の要素も取り入れ、地元の特産品を販売するほか、一般のヌーク市民も参加するなど、多様なプログラムで参加者の皆さんをお迎えます。

## その他のイベント

上記の公式プログラムのほか、ヌークでしか体験できないような様々なイベントもお楽しみいただけます。1月19日の土曜日には、地元の企業やグリーンランド議会の見学や、地元の歌手やダンサーのライブショーなど夜遅くまでプログラムが予定されて



います。さらに本物のイグルー見学や、スノーモービル体験のほか、世界最大級の規模を誇るフィヨルド下りなど、グリーンランドの魅力がたくさん詰まった各種イベントが数多く企画されていますので、是非ご参加ください。



# 世界冬の都市市長会とは

「世界冬の都市市長会」は、“冬は資源であり、財産である”というスローガンのもと、世界の冬の都市が集まり、冬の技術や経験を学びあうためのネットワークです。以前は、北方都市市長会議と呼ばれ、1981年に札幌市が提唱し、翌年に第1回の市長会議を開催したのが始まりです。2004年に名称を「世界冬の都市市長会」に変更しました。

これまでの会議では、都市計画、冬の都市交通、除排雪、リサイクル、冬の観光資源開発などについて市長同士がそれぞれの都市の知恵と経験を共有し、まちづくりのアイデアや厳しい気象条件を克服する手立てを学んできました。



上田文雄会長（札幌市長）

## 冬の都市とは

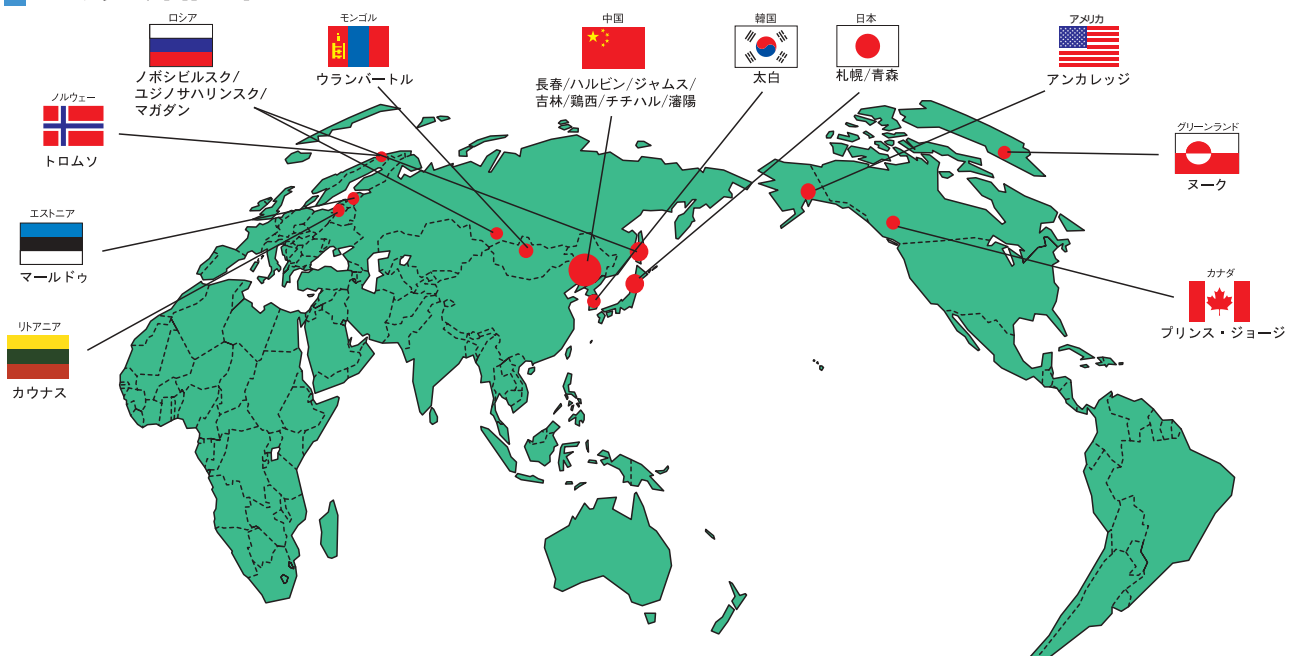
積雪または寒冷という気象条件のもとでまちづくりを行う都市。

積雪の基準・・・年間最大積雪量が概ね20cm( 8インチ )以上となること。

寒冷の基準・・・1年間のうちでもっとも寒い月の平均気温が概ね摂氏0度(華氏32度)以下となること。

## 会員都市

11カ国20都市（2007年11月現在）



## 主な活動内容

### 市長会議

世界冬の都市市長会の主要事業であり、2年に1度開催されます。

これまで12回の会議が開催されており、都市計画、環境、自然災害、除排雪などについて、市長同士が先駆都市の知恵と経験を共有し、「まちづくり」へのヒントや厳しい気象条件を克服する手立てを学んできました。

市長会議は、市長自らが各都市の取り組み事例を紹介し、市長同士が膝を交えて率直な意見交換を行う格好の機会となっています。



### 冬の見本市、冬の都市フォーラム

冬の見本市・冬の都市フォーラムは、市長会議と併せて行われる、併催事業です。

「冬の見本市」は、開催市および会員都市の企業や団体が中心となって、冬や雪に関連する機材や製品の展示をはじめ、様々な技術の紹介を行うものです。

「冬の都市フォーラム」は様々な分野の専門家や学術研究者、あるいは市民が、冬のライフスタイルやまちづくりなどについて発表を行う学術交流の場です。1988年の第3回会議から併催されるようになり、世界冬の都市市長会議は、大きなイベントに発展しました。



### 小委員会

冬の都市の状況や先進事例を調査・研究する機関です。

これまでに、「リサイクル小委員会」、「観光促進小委員会」、「雪対策小委員会」、「自然災害対策小委員会」、「持続可能な冬の都市づくり小委員会」、「テロ対策小委員会」等が設置され、それぞれのテーマに基づいて調査・研究成果をまとめています。

現在は「冬の都市環境問題小委員会（事務局：札幌市）」が活動しており、「地球規模の環境問題」を切り口に、環境教育や自動車問題といった身近な問題から、大気汚染や水質汚濁などの公害対策技術、省エネルギー技術の先進事例の収集まで幅広い活動を行っています。また、最新の活動状況を世界冬の都市市長会のウェブページにて発信しております。



### 実務者会議

会員都市の行政実務者が集まり、次期市長会議の開催計画やテーマ、市長会の運営などについて協議する会議です。毎年行われています。

#### 会員になるには

**入会手続き：** 会員になるには、入会しようとする都市の市長が会長に入会を申請し、役員会で入会が決定されます。

**会費：** 会員都市は、都市人口と国民1人あたりの国内総生産額（GDP）を基準として算出される年会費を払わなければなりません。ただし、入会初年度の会費納入金額は、年会費の半額となります。

**会員になると：** 会員になると、市長会総会及び市長会議に出席して発言し、表決に加わることができます。また、市長会議の開催市に立候補することができます。さらに、会員間に形成されているネットワークを活用して様々な分野で個別に交流をすることができます。

**申込み先：** 世界冬の都市市長会事務局  
011-211-2032

最新の会議内容やこれまでの成果についての詳しい情報を、世界冬の都市市長会のホームページに掲載していますので、是非ご覧下さい。

(<http://www.city.sapporo.jp/somu/kokusai/wwcam/>)

世界冬の都市市長会は共に快適な冬のまちづくりについて考える会員都市を募集しています。加入の詳しい要件などについては、世界冬の都市市長会事務局までお問い合わせください。

## ヌーク～グリーンランドの首都～

ヌークは、ノルウェー人の宣教師ハンス・エジェデによって創建されました。彼は1728年に現在のヌークの近くに入植し、およそ250年もの間、その入植地には「ゴッドホープ」(Good Hopeという意味のデンマーク語)という名称が正式に使われていましたが、1979年に正式名称を岬という意味の「ヌーク」に変更しました。今日、ヌークはグリーンランド最大の都市として、中心的役割を果たしています。

ヌークは、観光客の皆様にも、素晴らしい環境と豊かな文化的生活を提供します。例えば、グリーンランド国立博物館・古文書館、自治政府庁舎、ハンス・リングエのゴブラン織が保存されている市役所庁舎、カテュアク文化センター、植民地港、カラフルな家並みや建物などです。なかでも、延長100kmにも及ぶ世界最大のフィヨルド、“ゴッドホープフィヨルド”は、1年中



建物のカラフルな色使いもグリーンランドの特徴



凍らないため船の航行が可能であり、フィヨルドと山の地形のお陰で、素晴らしい自然の景観がつけられています。夏は、ヨット、ハンティング、釣りやハイキング、冬は、クロスカントリースキー、アルペンスキー、スノーボード、アイススケートなど、様々なスポーツやアクティビティを楽しむ

ことができます。また、フィヨルドには、石と氷でできた丘があり、鯨やたくさんの鳥、動物が生息しているとともに、あちらこちらに、今は誰も住んでいないイヌイットや北部民族の旧居住地、開拓を途中で中断した旧開拓地などがあります。さらに、市議会議事堂の中では、ヌーク市による特別なアトラクションが催されています。そこには、有名な芸術家、政治家であり、論客でもあるハンス・リングエ(1906-1988)が描いた絵を素材とした素晴らしいゴブラン織が13枚保存されています。ゴブラン織は、グリーンランド産の羊毛をデンマーク人の職人が織り、グリーンランド産の植物染料で染められます。魅力いっぱいのグリーンランド。一度足を運んでみませんか。



第13回世界冬の都市市長会議の詳細につきましては、運営委員会委員長のウラ・リングエ、またはプロジェクトマネージャーのトリーネ・カンブラーセンまでEメールwintercitiesnuuk@nuuk.glにてお問い合わせいただくか、ヌーク市のホームページ<http://www.wintercitiesnuuk.gl/>をご覧ください(英語)。

その他、世界冬の都市市長会に関する一般的な質問は、世界冬の都市市長会事務局(札幌市役所国際部内)までEメールwwcam@city.sapporo.jpにてお気軽にご相談下さい。

また、本会のホームページ<http://www.city.sapporo.jp/somu/kokusai/wwcam/>も併せてご覧ください。

## 世界冬の都市市長会 2007年実務者会議（札幌）実施報告

来年1月に開催されるヌーク市長会議に先駆けて、今年の7月26日～28日（会場：ロイトン札幌）に、世界冬の都市市長会の事務局を置く札幌市において実務者会議を開催いたしました。前述の市長会議は2年に1回開催しておりますが、実務者会議は2002年から毎年開催して今年で6回目になります。これは次期市長会議の開催プログラムを協議するだけでなく、小委員会の事例発表の場としても活用されています。

今回の札幌市での開催は、2002年に引き続き2回目の開催となりました。各会員都市の実務者の方々およそ30名が来札し、ヌーク市長会議の成功や本会の発展に向けて、活発な議論が交わされました。

以下に会議の概要を紹介いたします。

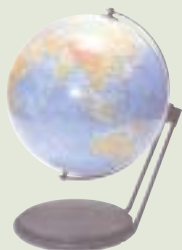
### 参加都市（8カ国12都市）

プリンスジョージ（カナダ）、長春、ハルビン、チチハル、瀋陽（以上、中国）、マールドゥ（エストニア）、ヌーク（グリーンランド）、青森、札幌（以上、日本）、太白（韓国）、トロムソ（ノルウェー）、アンカレッジ（アメリカ）



「実務者会議の様子」

2年に一度の市長会議を半年後に控えた今回の実務者会議では、主に次期ヌーク市長会議の開催案が話し合われました。そのほか、冬の都市環境問題小委員会の中間報告が同市長会議中に併せて予定されているのに先立ち、事例発表を行いました。



「ラーセン氏による次期市長会議開催案の説明」

2008年1月に開催されるヌーク市長会議のプロジェクトリーダーを務める、トリーネ・カンブ・ラーセン氏からは、会議で話し合われる議題のほか、日程の詳細やツアーの申し込み方法など、参加者に対しての具体的な説明がありました。今回のメインテーマである、地球温暖化の影響が深刻なグリーンランドの実情を知ってもらいたいとの願いからか、非常に熱のこもったプレゼンテーションとなりました。



実務者会議（札幌）の参加者の皆さん



行政視察会場（モエレ沼公園）にて